2026 年 11 月 4 日

家庭用蓄電池の系統放電を最大 70 円/kWh で買い取るサービスを開始
～「制御に応じた継続的な還元」と「効果の見える化」で低圧 DR・VPP の普及を加速～

東京ガス株式会社

東京ガス株式会社（社長：笹山 晋一、以下「東京ガス」）は、家庭用蓄電池向けソリューション「蓄電池ネットワークサービス」[*1]を 2026 年 11 月に拡充し、蓄電池から電力系統へ放電した電力を最大 70 円/kWh で買い取る仕組みと、太陽光発電・蓄電池の制御効果を確認できるお客さま専用マイページの提供を開始します。

再生可能エネルギー（以下「再エネ」）の導入拡大に伴い、電力の需給ひっ迫や再エネの出力変動への対応が求められる中、家庭用蓄電池などの分散型エネルギーリソースを活用したデマンドレスポンス（以下「DR」）や、それらを束ねて大きな調整力を創出するバーチャルパワープラント（以下「VPP」）への期待が高まっています。

東京ガスは、2024 年から本サービスを通じて家庭用蓄電池の遠隔制御に先行して取り組み[*1]、2025 年 12 月には加入するお客さまの家庭用蓄電池 200 台超を用いて、容量市場の発動指令に遠隔制御で応答する実効性テストを実施する[*2]など、2027 年 4 月からの容量市場への供給力提供をはじめとする家庭用蓄電池の本格的な市場活用に向けた準備を進めてきました。一方、低圧 DR・VPP の普及には、多くのお客さまに家庭用蓄電池の遠隔制御へ参加いただくことが重要です。これまでのサービス運営やお客さま調査、実証等を通じ、遠隔制御による経済的なメリットや社会への貢献を実感しにくいこと、遠隔制御による電気代や蓄電残量への不安などを確認しています。そこで今回、こうした知見やお客さまの声を踏まえ、蓄電池の系統活用によって生み出される価値をお客さまへ継続的に還元する仕組みと、制御の状況・効果を確認できるマイページを一体で提供します。これらの取り組みにより、遠隔制御への不安を和らげ、お客さまが納得して参加できる環境を整え、低圧 DR・VPP の普及を推進します。

■蓄電池の系統放電による価値をお客さまへ還元



本サービスでは、当社の制御により蓄電池から電力系統へ放電された電力量について、通常の卒 FIT 買取に系統放電への協力分を上乗せして買い取ります。買取単価は、容量市場の発動指令など当日の需給状況に応じた「当日制御」では 70 円/kWh、電力市場価格等の予測に基づく「前日制御」では電力量料金単価＋10 円/kWh とします。家庭用蓄電池を遠隔制御し、系統へ放電した電力を買い取るサービスにおいて、このように制御目的に応じて複数の買取単価を設定する仕組みは業界初*3 です。この仕組みにより、蓄電池の系統活用によって生み出される価値をお客さまへ還元しながら、電力需給バランスに応じたきめ細やかな VPP 運用を可能にします。

制御区分	当日制御	前日制御
概要	容量市場の発動指令等、当日の需給状況に応じて実施する制御	電力市場価格等の予測に基づく制御
買取単価	70 円/kWh ※太陽光発電の買取単価を含む。	電力量料金単価 ＋ 10 円/kWh *4 ※太陽光発電の買取単価を含む。 ※電力量料金単価は、東京ガスの基本プランにおける 300kWh 超の電力量料金と燃料調整費、再生可能エネルギー発電促進賦課金の合計
適用条件	対象機種や契約条件等の適用条件があります。 対象メーカー：オムロンソーシアルソリューションズ株式会社、京セラ株式会社、長州産業株式会社 契約条件・その他：当社との電気需給契約および太陽光発電の電力受給契約を締結していること。その他条件等は当社 WEB サイトをご確認ください。	

■制御の状況・効果を見える化し、安心して参加いただける環境へ



遠隔制御を伴うサービスでは、「いつ、どのように制御されるのか分からない」「制御によってどのようなメリットが得られているのか実感しにくい」といった点が、お客さまの不安につながりやすくなります。

今回提供するお客さま専用マイページでは、蓄電池の制御予定・履歴に加え、制御によって得られた経済メリットを確認できるようにします。ご自身の蓄電池がいつ、どのように活用され、どのような成果につながったのかを把握できるため、遠隔制御への不安を和らげ、安心して長くご利用いただける環境を整えます。

あわせて、太陽光発電・蓄電池を利用するお客さまから多く寄せられていた「電気代をどれだけ削減でき

たのかわかりにくい」という声にお応えし、太陽光発電・蓄電池による電気代削減効果を確認できる機能も備えます。なお、マイページは本サービスの全加入者がご利用いただけます。制御による経済メリットおよび電気代削減効果の確認は、東京ガスの電気をご契約のお客さまが対象です。

東京ガスは今後も、「蓄電池ネットワークサービス」の対象機器や活用機会の拡大を進め、家庭用蓄電池の提供価値を通じて低圧 VPP の社会実装を推進し、電力システムの安定化に貢献していきます。

東京ガスは、グループ経営ビジョン「Compass2030」で「価値共創のエコシステム構築」ならびに「CO_2 ネット・ゼロへの挑戦」を掲げています。一人ひとりの暮らしから地域社会にいたるまでの多様な課題を解決するさまざまなサービスを創出・提供し、お客さまとともに「カーボンニュートラル社会の実現」に貢献してまいります。

＊1：家庭用蓄電池を活用した機器制御型デマンドレスポンスサービス（旧「IGNITURE 蓄電池」）。家庭用蓄電池の充放電を制御する「IGNITURE 蓄電池」を提供開始（2024 年 4 月 23 日発表）
＊2：家庭用蓄電池を活用した容量市場の実効性テストに参加（2026 年 1 月 21 日発表）
＊3：家庭用蓄電池を遠隔制御し、系統へ放電した電力を買い取るサービスにおいて、制御目的に応じて複数の買取単価を設定する仕組みとして。公開情報ベース（東京ガス調べ、2026 年 10 月 28 日時点）
＊4：2026 年 11 月では、東京ガス「基本プラン」の電力使用量 300kWh 超における電力量料金単価 39.50 円/kWh+当該月の燃料費調整単価▲5.33 円/kWh＋2026 年度の再生可能エネルギー発電促進賦課金単価 4.18 円/kW+10 円=48.35 円/kWh(太陽光発電の買取単価を含む)

■ソリューション事業ブランド「IGNITURE（イグニチャー）」＊5 について

IGNITURE
IGNITE YOUR FUTURE

東京ガスは、「ソリューションの本格展開」に向け、2023 年 11 月、ソリューション事業ブランド「IGNITURE」を立ち上げました。「IGNITURE」の下で展開するソリューションにより、ご家庭、法人、地域・コミュニティのお客さまが、「最適化による経済性・利便性・効率性向上などでさらに豊かな未来」と、「脱炭素・レジリエンス向上などでサステナブルな生活・事業」を、無理なく両立できます。

＊5：IGNITURE の詳細はこちら

以上